



平成 30 年 11 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社エラン  
代表者名 代表取締役社長 櫻井 英治  
(コード番号 6099 東証第一部)  
問合せ先 取締役 CFO 管理本部長 原 秀雄  
(TEL. 0263-29-2684)

**(訂正・数値データ訂正)「平成 30 年 12 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕  
(連結)」の一部訂正について**

本日(平成 30 年 11 月 9 日)に公表いたしました「平成 30 年 12 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」について、内容に関して、下記のとおり一部訂正をいたしますのでお知らせいたします。

記

**【訂正の理由・内容】**

修正する必要がなかった平成 30 年 12 月期に係る期末の配当予想につきまして、配当予想の修正の掲載をしていたためであります。

具体的には、平成 30 年 12 月期に係る期末の 1 株当たり配当金(予想)を、株式分割後の金額で記載しておりましたが、平成 30 年 12 月期末時点(平成 30 年 12 月 31 日時点)では株式分割の効力が及ぶことはありませんので、以下のとおり訂正いたします。

訂正箇所には下線を付しております。また、訂正のない箇所は省略しております。

**【訂正箇所】**

・サマリー

(訂正前)

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29 年 12 月期	—	0.00	—	8.00	8.00
30 年 12 月期	—	0.00	—		
30 年 12 月期(予想)				<u>6.00</u>	<u>6.00</u>

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日（平成 30 年 11 月 9 日）公表いたしました「株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更並びに配当予想修正に関するお知らせ」をご覧ください。

(訂正後)

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29 年 12 月期	—	0.00	—	8.00	8.00
30 年 12 月期	—	0.00	—		
30 年 12 月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## ・添付資料

(訂正前)

### 1. 当四半期決算に関する定性的情報

#### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当連結会計年度より取り組んでいる収益性改善策の効果が顕在化していることや、販売費及び一般管理費の発生額が当初想定していた額を下回っていることなどに起因する増益効果が、西日本豪雨災害に伴う新規施設の導入時期の延期及び酷暑によるリネン使用量の増加の影響を吸収し、平成 30 年 12 月期第 2 四半期累計期間に続き、第 3 四半期連結累計期間の利益水準も堅調に推移しました。

その結果、平成 30 年 12 月期通期の連結業績予想につきましては、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益がそれぞれ前回予想（平成 30 年 8 月 10 日付「通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表した連結業績予想）を上回る見込みとなりました。

配当予想につきましては、平成 31 年 1 月 1 日付で普通株式 1 株を 2 株に分割する株式分割を実施することに伴い、1 株当たりの予想期末配当金は、前回予想（平成 30 年 8 月 10 日付「配当予想の修正に関するお知らせ」で公表した配当予想）の 12 円 00 銭から 6 円 00 銭へと修正することといたしました。当該配当予想の修正は、株式分割後の 1 株当たりの配当金額であり、平成 30 年 8 月 10 日に公表いたしました株式分割前の 1 株当たり予想年間配当金額 12 円 00 銭に実質的な変更はありません。

詳細については、本日（平成 30 年 11 月 9 日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」及び「株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更並びに配当予想修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(訂正後)

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当連結会計年度より取り組んでいる収益性改善策の効果が顕在化していることや、販売費及び一般管理費の発生額が当初想定していた額を下回っていることなどに起因する増益効果が、西日本豪雨災害に伴う新規施設の導入時期の延期及び酷暑によるリネン使用量の増加の影響を吸収し、平成 30 年 12 月期第 2 四半期累計期間に続き、第 3 四半期連結累計期間の利益水準も堅調に推移しました。

その結果、平成 30 年 12 月期通期の連結業績予想につきましては、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益がそれぞれ前回予想（平成 30 年 8 月 10 日付「通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表した連結業績予想）を上回る見込みとなりました。

詳細については、本日（平成 30 年 11 月 9 日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上